

## 東北大学大学院情報科学研究科

(1)	シンポジウム開催支援経費 学際的研究プロジェクト支援経費	実績報告書
タイトル	仙台数論及び組合せ論小研究集会 2005	
(2) 主催者	宗政昭弘(東北大情報・教授): 開催責任者 今井秀雄(東北大情報・助教授) 田谷久雄(東北大情報・助手)	
期 日	2006年1月30日(月)~31日(火)	
会 場	東北大学情報科学研究科棟 2階大会議室	
出席者数(講師・パネリスト等を除く)	約30名	
講師・パネリスト等の氏名・勤務先等	谷口浩朗(詫間電波工業高専・教授) 門上晃久(大阪府立大学研究所・研究所員) 藤井俊(早稲田大学理工学部・助手) 大野泰生(近畿大学理工学部・助教授) Boris Venkov (Steklov Institute・Professor, 京都大学数理研) 宮澤俊之(NTT 情報流通プラットフォーム研究所) 他4名(添付プログラム参照)	
(3) 目 的	符号理論及び暗号理論とそれを支える数論及び代数的組合せ論に関する研究拠点を当研究科に形成することを目的とする。また、該当分野の研究発展と新たな展開への模索、および、若手研究者の育成のため場の提供を行う。	
(4) 内 容	量子公開鍵暗号、数論及び代数的組合せ論の専門家を招き、参加自由型のオープンな研究集会を開催し、外国人、企業人を含む合計10名の研究者が講演を行った。	
(5) 情報科学研究科 にとっての意 義・貢献度	この研究集会は1997年からほぼ継続的に開催されており、全国的に定例行事として認知されつつある。過去に開催した集会の報告もインターネットで公開することにより、当研究科での研究の伝統を築き上げている。また、大学院生の獲得にも大きく貢献しているものと思われる。	

注(1)「シンポジウム開催支援経費」「学際的研究プロジェクト支援経費」より、該当する項目を記載してください。

(2) 当学術企画実施の代表者もしくは責任者及び協力者名を全員記載してください。

(3) 当学術企画を実施した目的を簡潔に記載してください。

(4) 実施された当学術企画の内容を簡潔に記載してください。

(5) 大学院情報科学研究科に対する当学術企画の意義や貢献度を簡潔に記載してください。